当日配布資料３

平成２７年　月　日

豊田市長　太田　稔彦　様

豊田市子どもにやさしいまちづくり推進会議
会長　大森　隆子

## 第２次豊田市子ども総合計画について（答申）

平成２５年７月２９日付け豊次発第８０４号で諮問のありました「第２次豊田市子ども総合計画」につきましては、本会議及び子ども・子育て支援新制度検討部会において慎重に審議いたしました結果、別添「第２次豊田市子ども総合計画案」のとおり答申いたします。

なお、本計画を推進していく際には、引き続き留意すべき点として、次の３点について意見を申し添えますので、適切な対応を要望します。

１　子どもの育ちとともに親育ちの支援の充実

子育ての第一義的な責任を有する親自身や家庭が子育ての意義を理解し、その喜びを感じながら、子育てを通じて成長していくことも重要な要素のひとつです。子ども自身が主体的に成長できるよう支援を行っていくとともに、家庭における教育力、親の子育て力を向上していくことが重要です。

２　社会全体で取り組む子ども・青少年の育成

「子どもは社会の宝」であり、子育ては家庭のみならず、広く社会全体で支えていくことが必要です。「共働」の視点のもと、「子どもは地域社会全体で育てる」という意識を醸成するとともに、今後さらに子ども、親、地域住民、企業、団体など主体の力を高め、自主的な活動の企画や運営を促し、取り組みを進めていくことが必要です。

３　第２次子ども総合計画の着実な実行

子ども・青少年を取り巻く環境は、絶えず大きく変化しています。PDCA サイクルを実行することにより、こうした状況を的確にとらえ、柔軟に対応するとともに、本計画の施策を着実に実施し、子どもが幸せに暮らすことのできるまちを実現することを期待します。